



あなたの、いちばんであるために。

やましん

山梨信用金庫経営企画部

〒400-0032 甲府市中央 1-12-36

TEL 055-225-0213

ホームページアドレス

<https://www.yamasin.jp/>

中小企業景況レポート 2023年10~12月期 No.64 2024.1.15 発行

■ 調査要領 ■

- 調査対象
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120社
- 調査時期・期間
調査時期：2023年12月1日~7日
調査期間：今期実績 2023年10月~12月
来期見通し 2024年1月~3月
- 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
- 分析方法
DIを中心に分析
- 特別調査
「2024年（令和6年）の経営見通し」

■ 調査対象と回答状況 ■

業種	企業数	回答数	回答率
製造業	28	27	96.4%
卸売業	15	14	93.3%
小売業	17	16	94.1%
サービス業	26	26	100.0%
建設業	23	23	100.0%
不動産業	11	11	100.0%
合計	120	117	97.5%

※ DI (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合 - 「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い・やや良い」の回答が 50%、「変わらず」の回答が 30%、「悪い・やや悪い」の回答が 20%の場合

DI は $50 \times \text{「良い・やや良い」} - 20 \times \text{「悪い・やや悪い」} = +30$ となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

業況判断 DI

業種	前期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	DI	良い	悪い	DI
総合	▲6.0	26.4	20.5	5.9	23.0	23.0	0.0
製造業	▲37.0	33.3	33.3	0.0	22.2	33.3	▲11.1
卸売業	20.0	28.5	0.0	28.5	14.2	7.1	7.1
小売業	▲11.8	31.2	25.0	6.2	37.5	25.0	12.5
サービス業	15.4	26.9	30.7	▲3.8	26.9	26.9	0.0
建設業	▲4.3	26.0	8.6	17.4	21.7	8.6	13.1
不動産業	▲10.0	0.0	9.0	▲9.0	9.0	36.3	▲27.3

業種別景気天気図

業種	前期	今期	見通し
総合			
製造業			
卸売業			
小売業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、正確性・完全性を保証するものではありません。

※回答数：国中地区 68社、東部地区 31社、相模原周辺地区 18社

31以上	11~30	10~▲10	▲11~▲30	▲31以上

概況

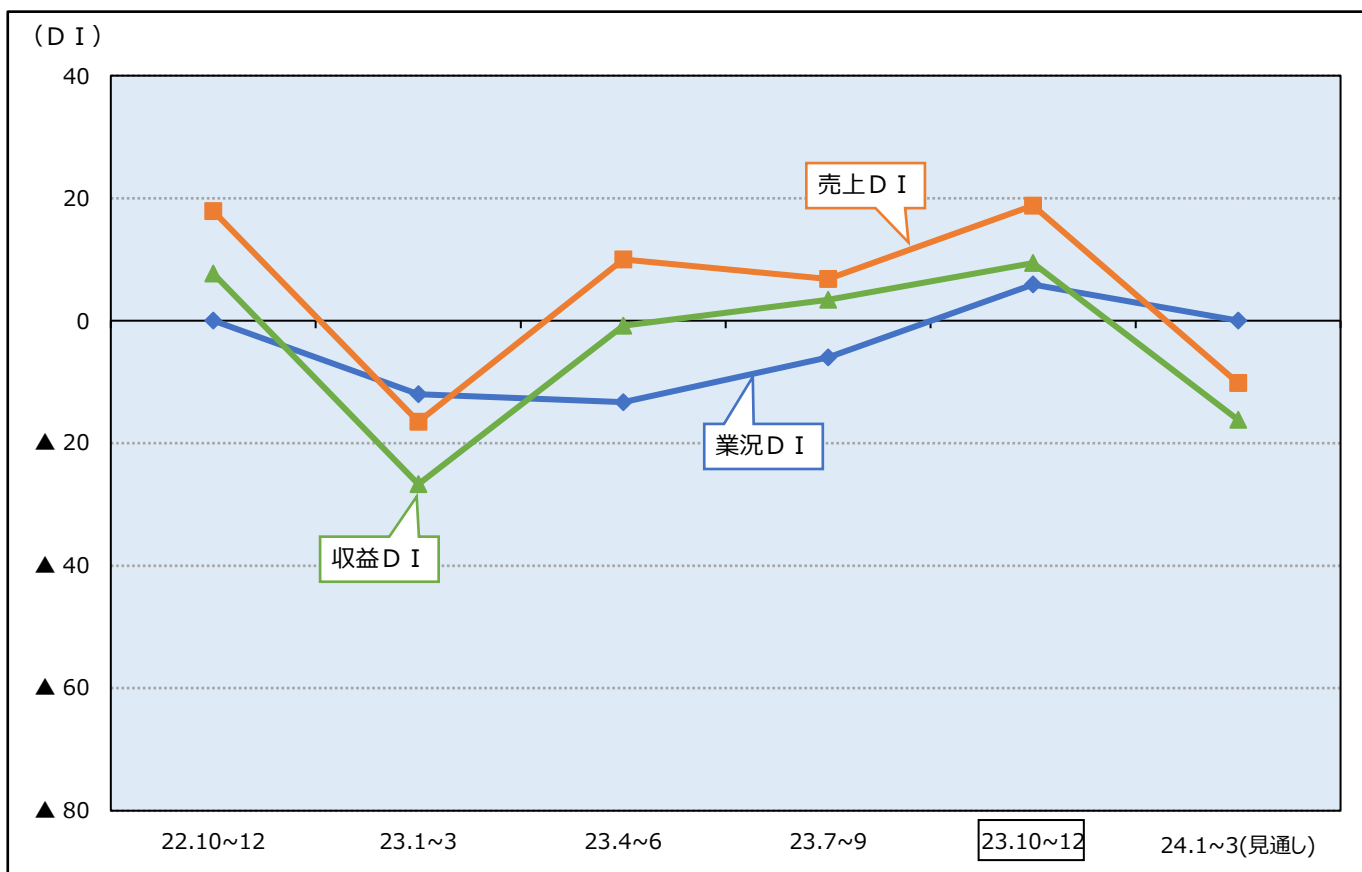
<業況・売上・収益>

今期（10～12月、以下同じ。）のD Iをみると、業況D Iは前期（7～9月、以下同じ。）▲6.0から5.9と、11.9ポイント改善（前年同期比5.9ポイント改善）しました。売上D Iは同6.8から18.8と、12.0ポイント改善（同比0.9ポイント改善）、収益D Iは同3.4から9.4と、6.0ポイント改善（同比1.7ポイント改善）しました。

全業種総合の来期見通し（1～3月、以下同じ。）をみると、業況D Iは今期5.9から0.0と、今期実績比5.9ポイント悪化の見通しとなりました。売上D Iは同18.8から▲10.2と、同比29.0ポイント悪化、収益D Iは同9.4から▲16.2と、同比25.6ポイント悪化の見通しとなりました。

■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移 ■

	22.10～12	23.1～3	23.4～6	23.7～9	23.10～12	24.1～3 見通し
業況D I	0.0	▲12.0	▲13.3	▲6.0	5.9	0.0
売上D I	17.9	▲16.5	10.0	6.8	18.8	▲10.2
収益D I	7.7	▲26.7	▲0.8	3.4	9.4	▲16.2

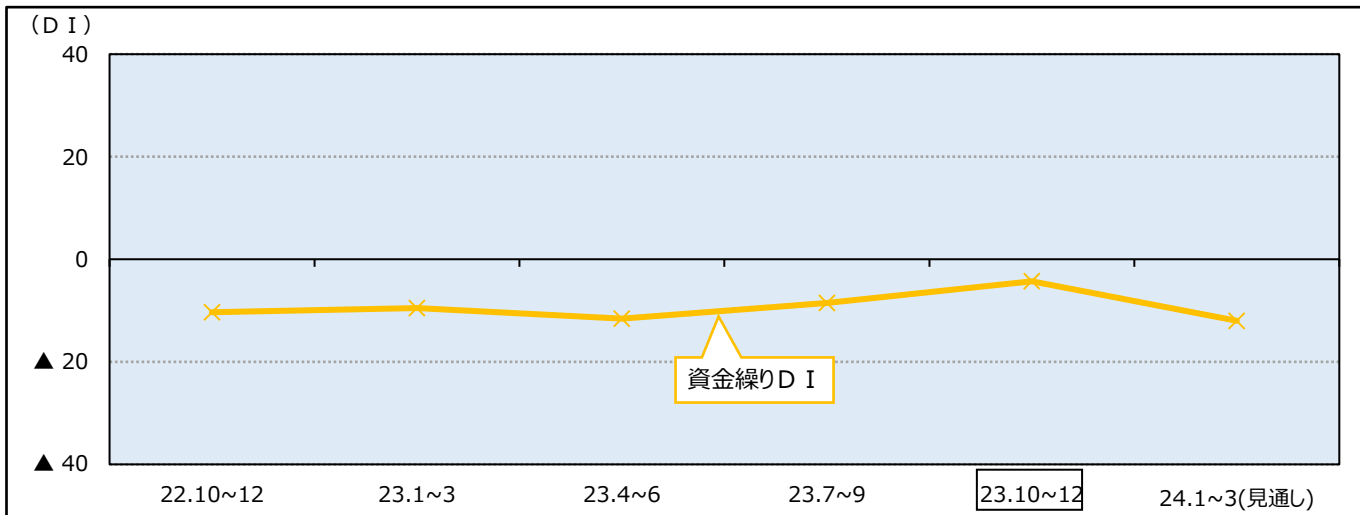


<資金繰り>

今期の資金繰りD Iは前期▲8.5から▲4.3と、4.2ポイント改善（前年同期比 6.0ポイント改善）しました。また、来期は▲12.0と、今期実績比 7.7ポイント悪化の見通しとなりました。

■ 資金繰りD Iの時系列推移 ■

	22.10~12	23.1~3	23.4~6	23.7~9	23.10~12	24.1~3 見通し
資金繰りD I	▲10.3	▲9.5	▲11.6	▲8.5	▲4.3	▲12.0



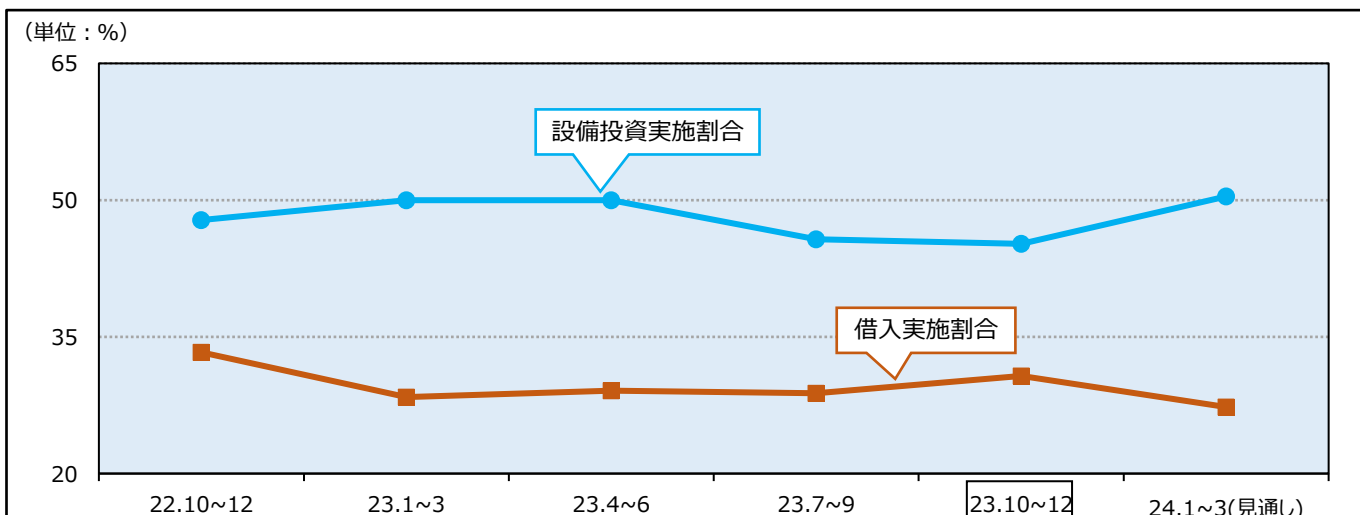
<設備投資・借入動向>

今期の不動産業を除いた設備投資実施企業割合は、前期 45.7%から 45.2%と、前期比 0.5ポイント低下（前年同期比 2.6ポイント低下）しました。また、来期は 50.4%と、今期実績比 5.2ポイントの上昇が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期 28.8%から 30.7%と、前期比 1.9ポイント上昇（前年同期比 2.6ポイント低下）しました。また、来期は 27.3%と、今期実績比 3.4ポイントの低下が見込まれます。

■ 設備投資・借入実施同行の時系列推移 ■

	22.10~12	23.1~3	23.4~6	23.7~9	23.10~12	24.1~3 見通し
設備投資実施割合	47.8%	50.0%	50.0%	45.7%	45.2%	50.4%
借入実施割合	33.3%	28.4%	29.1%	28.8%	30.7%	27.3%



製造業

■ 主要D Iの推移 ■

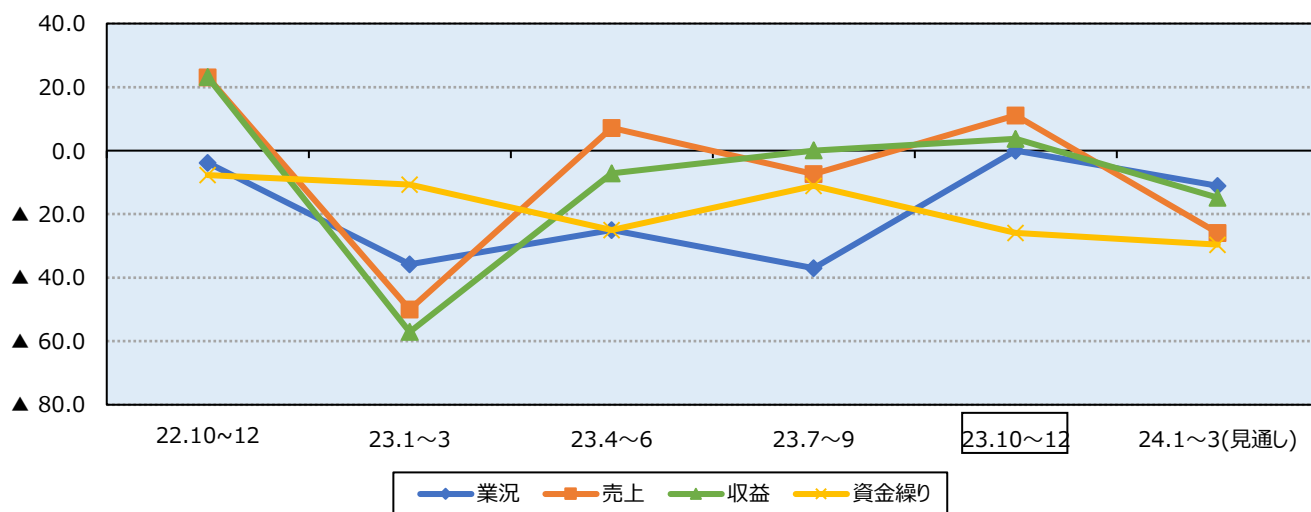
	前年同期	前期	今期	来期
業況	▲3.8	▲37.0	0.0	▲11.1
売上	23.1	▲7.4	11.1	▲25.9
収益	23.1	0.0	3.7	▲14.8
資金繰り	▲7.7	▲11.1	▲25.9	▲29.6

【今期】

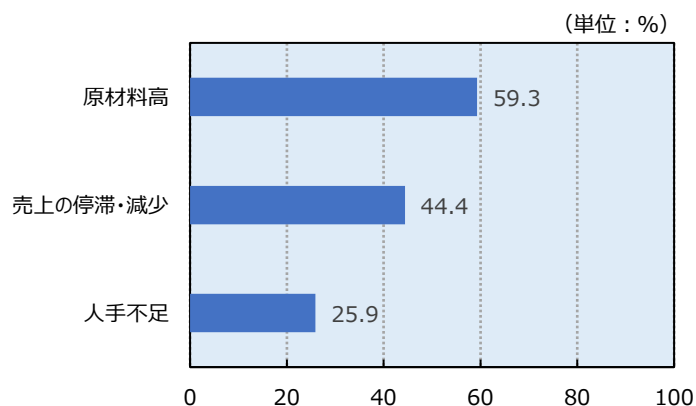
前期比で、資金繰りD Iを除いて改善しました。前年同期比では、業況D Iを除いて悪化しました。

【来期】

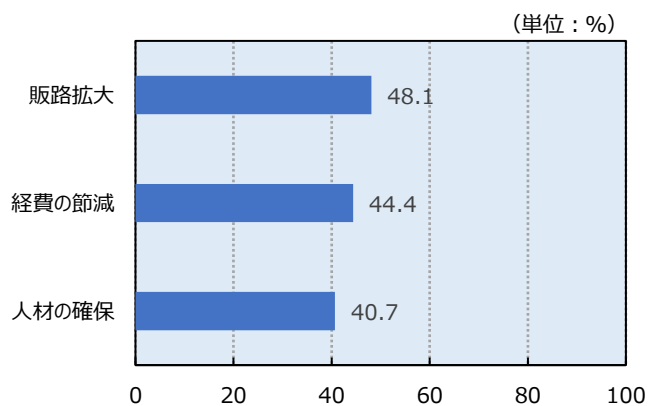
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 半導体関連業界全体において、来夏頃より回復基調となる見通しである。(半導体製造装置部品)
- 期初の予想を上回るペースで原材料価格の高騰が進んでおり、製品の値上げを検討している。(菓子)

卸売業

■ 主要D Iの推移 ■

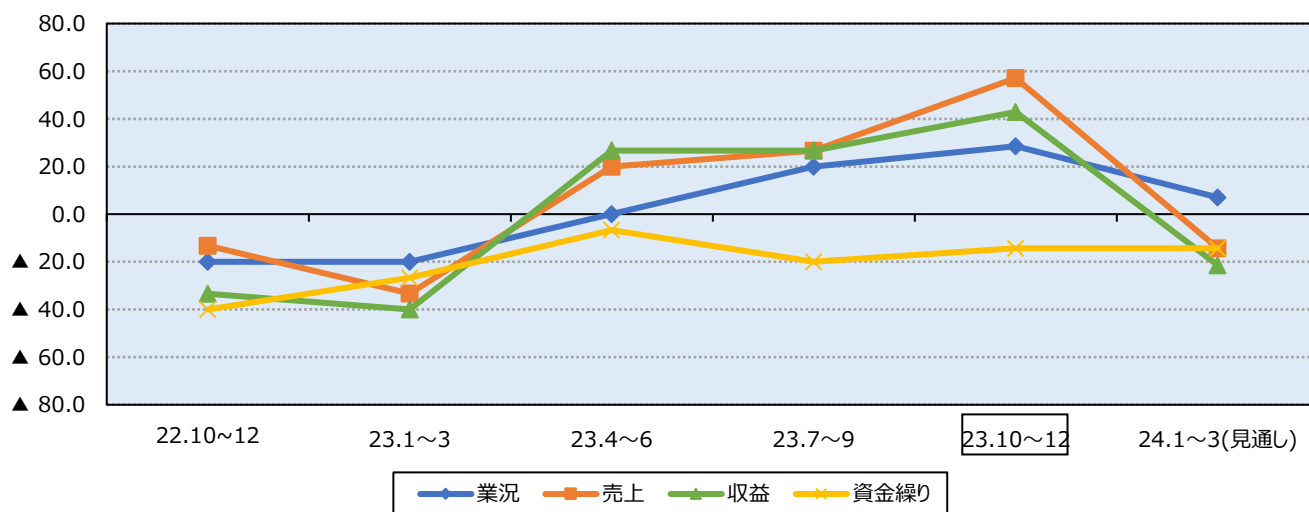
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲20.0	20.0	28.5	7.1
売 上	▲13.3	26.7	57.1	▲14.3
収 益	▲33.4	26.7	42.9	▲21.4
資 金 繰 り	▲40.0	▲20.0	▲14.3	▲14.3

【今期】

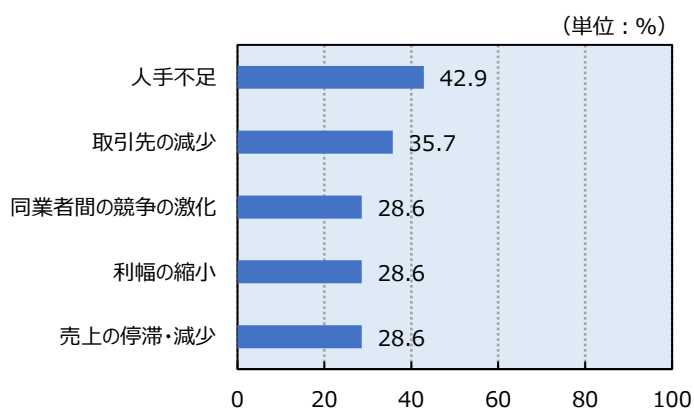
前期比および前年同期比で、すべてのD Iが改善しました。特に、前年同期比では、業況D Iが同比 48.5 ポイント、売上D Iが 70.4 ポイント、収益D Iが 76.3 ポイントと大きく改善しました。

【来期】

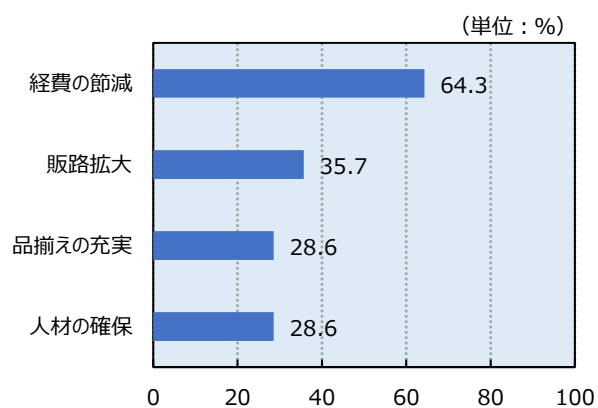
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて悪化の見通しとなりました。特に、売上D Iが同比 71.4 ポイント、収益D Iが 64.3 ポイントと大きく悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 人手不足に伴い、機械化による業務効率化を進めていく方針である。(米飯類)
- 物価高騰の影響はこの先もしばらく続くことが予想され、利益の確保に不安が残る。(水産物)

小売業

■ 主要D Iの推移 ■

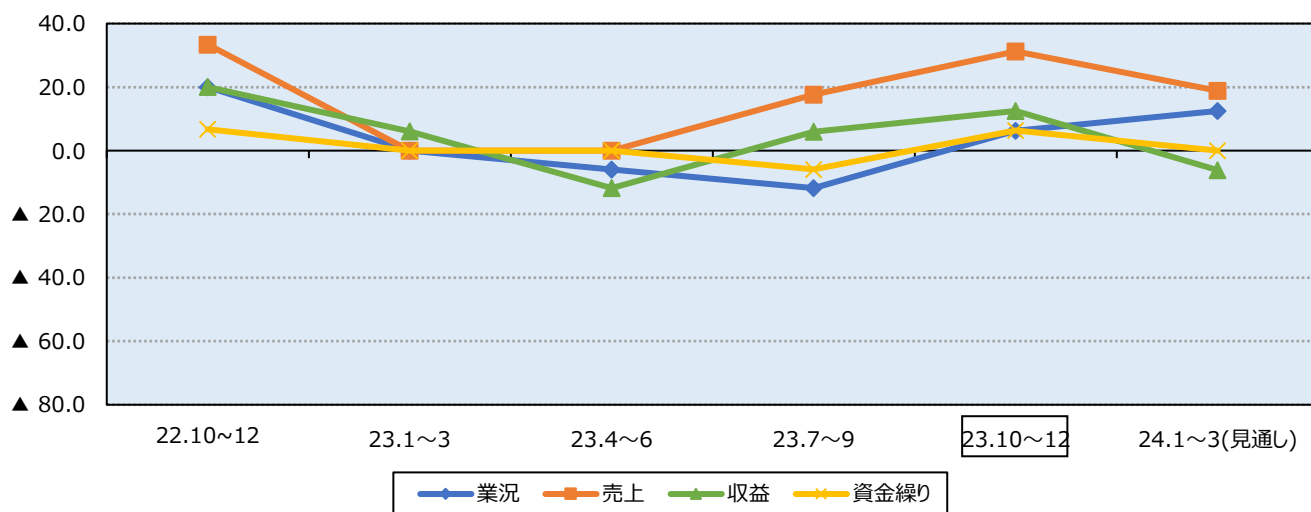
	前年同期	前期	今期	来期
業況	20.0	▲11.8	6.2	12.5
売上	33.4	17.6	31.2	18.8
収益	20.0	5.9	12.5	▲6.2
資金繰り	6.7	▲5.9	6.3	0.0

【今期】

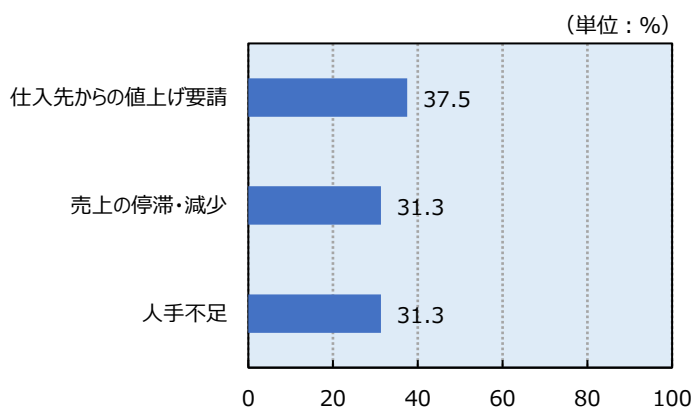
前期比で、すべてのD Iが改善しました。前年同期比では、すべてのD Iが悪化しました。

【来期】

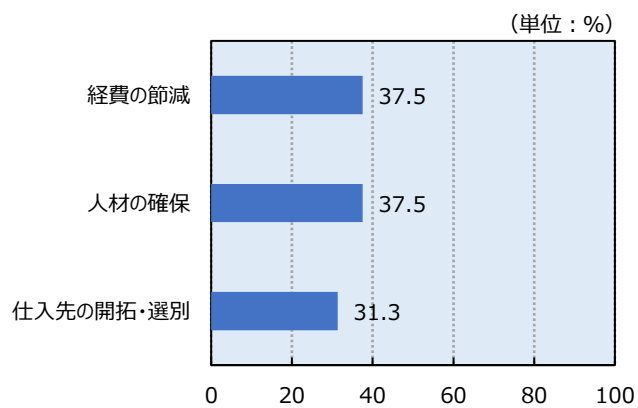
今期実績比で、業況D Iを除いて悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 仕入価格上昇分の価格転嫁が上手くいっておらず、売上は増加しているものの利幅が減少している。(酒類)
- 人材育成や仕入先の見直し等により収益の立て直しを図る方針である。(医薬品)

サービス業

■ 主要D Iの推移 ■

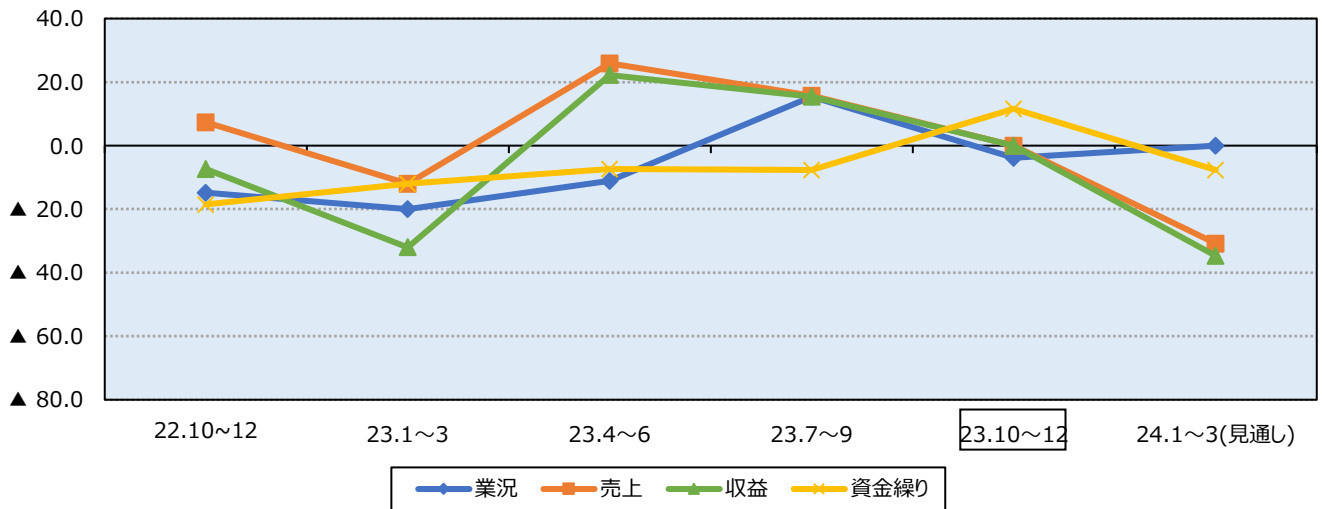
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲14.8	15.4	▲3.8	0.0
売 上	7.4	15.7	0.0	▲30.8
収 益	▲7.4	15.4	0.0	▲34.7
資 金 繰 り	▲18.5	▲7.7	11.6	▲7.7

【今期】

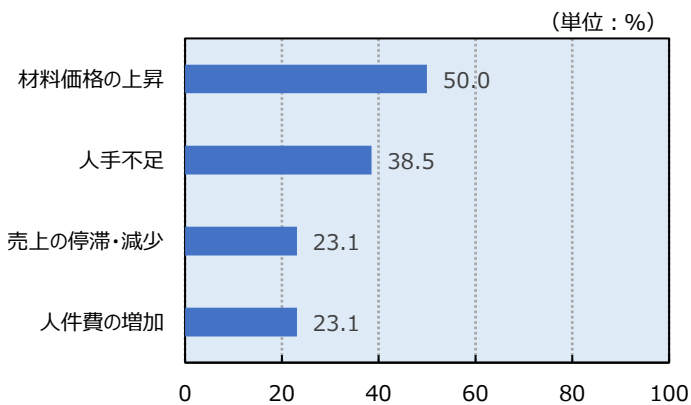
前期比で、資金繰りD Iを除いて悪化しました。前年同期比では、売上D Iを除いて改善しました。

【来期】

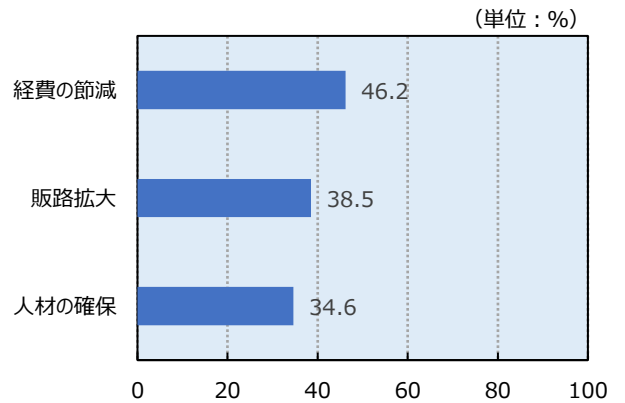
今期実績比で、業況D Iを除いて悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 仕入価格上昇分の販売価格への転嫁が追いついていない。(レジャー)
- コロナ禍が落ち着いたことに加え、キャッシュレス決済サービスのキャンペーンの影響もあり、売上は増加している。(飲食)

建設業

■ 主要D Iの推移 ■

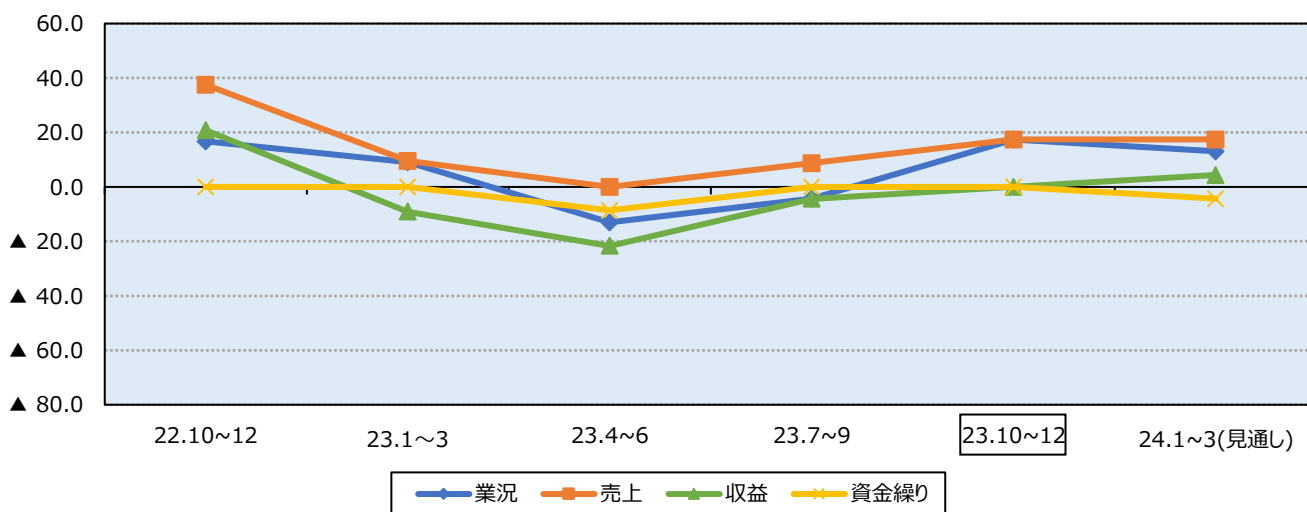
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	16.7	▲4.3	17.4	13.1
売 上	37.5	8.7	17.4	17.4
収 益	20.8	▲4.4	0.0	4.4
資 金 繰 り	0.0	0.0	0.0	▲4.3

【今期】

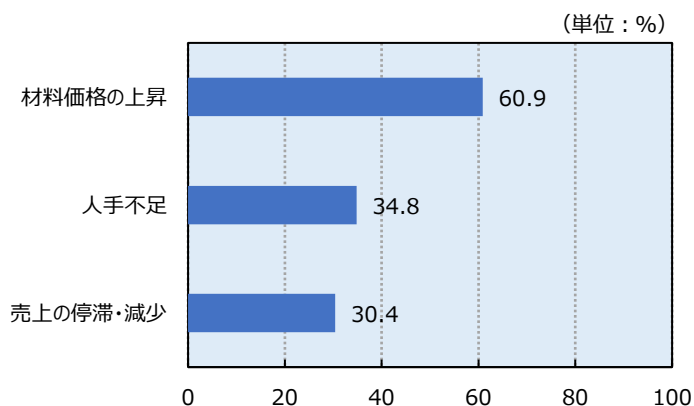
前期比で、資金繰りD Iを除いて改善しました。前年同期比では、業況D Iが改善、売上D Iと収益D Iが悪化、資金繰りD Iが横這いとなりました。

【来期】

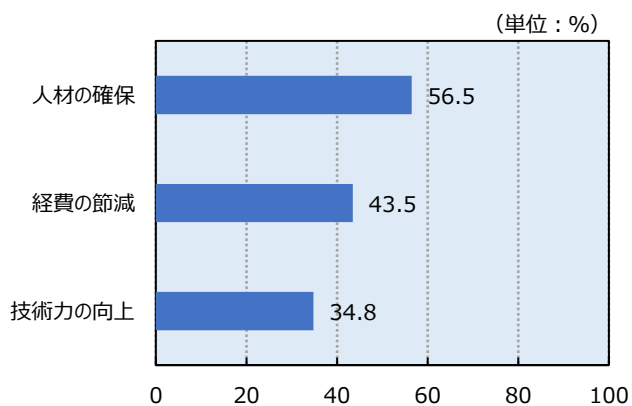
今期実績比で、業況D Iと資金繰りD Iが悪化、売上D Iが横這い、収益D Iが改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 建築資材の価格高騰と人手不足が深刻な課題となっている。(総合建築)
- 今後も資材価格の上昇が続くことを見越して在庫を確保している。(電気設備工事)

不動産業

■ 主要D Iの推移 ■

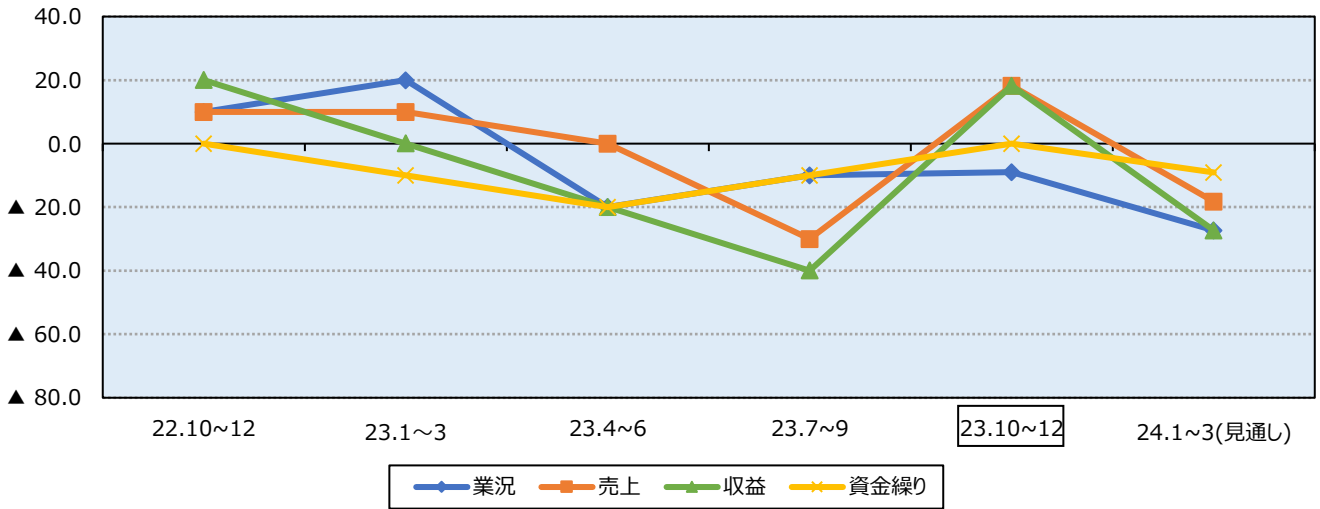
	前年同期	前期	今期	来期
業況	10.0	▲10.0	▲9.0	▲27.3
売上	10.0	▲30.0	18.2	▲18.2
収益	20.0	▲40.0	18.2	▲27.3
資金繰り	0.0	▲10.0	0.0	▲9.1

【今期】

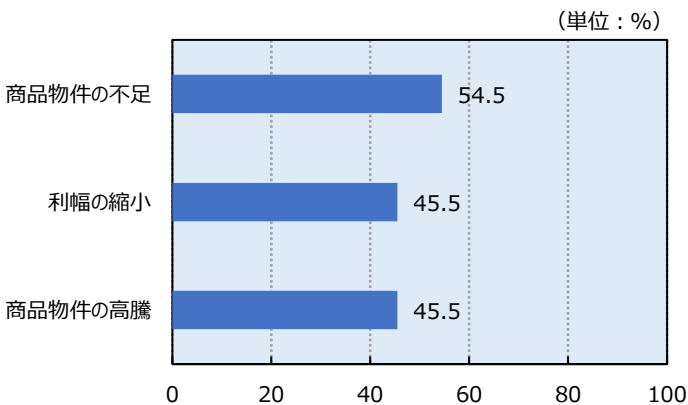
前期比で、すべてのD Iが改善しました。特に、売上D Iが同比 48.2%、収益D Iが同比 58.2%と大きく改善しました。前年同期比では、業況D Iと収益D Iが悪化、売上D Iが改善、資金繰りD Iが横這いとなりました。

【来期】

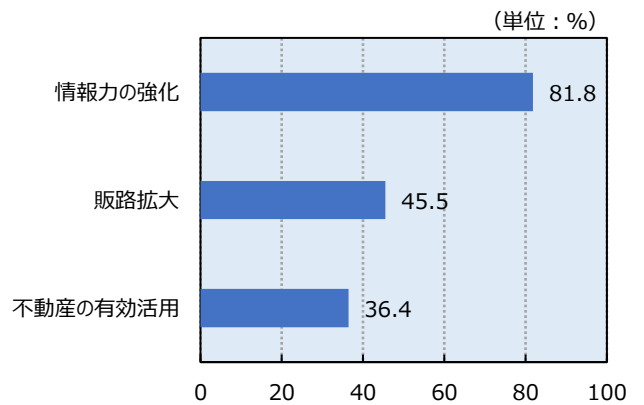
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

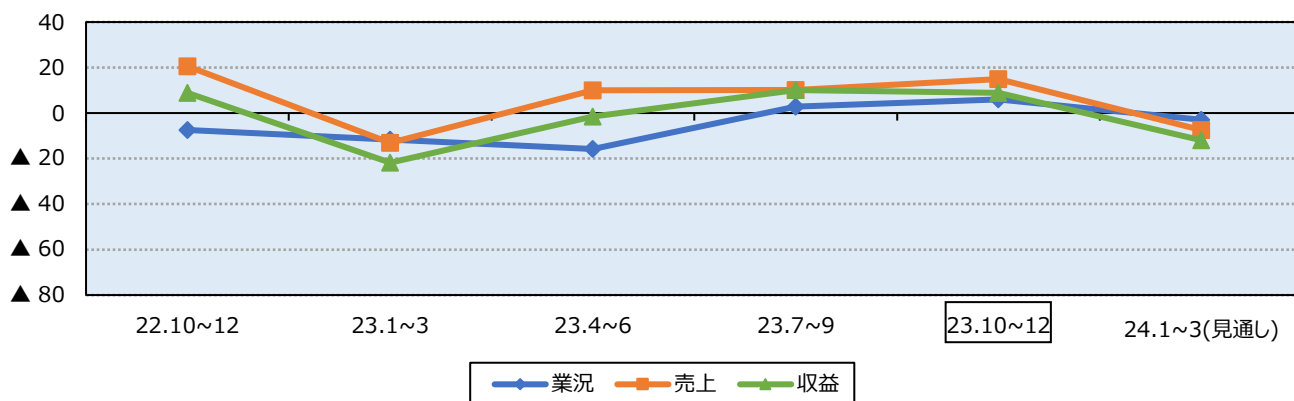
- 物価高騰の影響に伴う造成工事費用の増加により、利益が見込みを下回ることがある。(不動産売買)
- 情報収集に注力し、販売力の強化を図っている。(不動産売買)

<地区別D Iの状況>

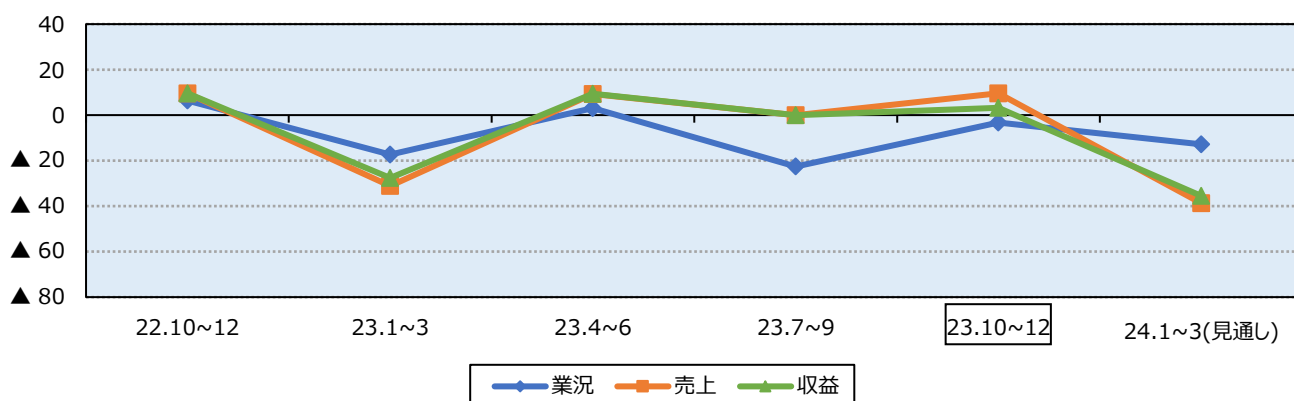
山梨県国中地区では、前期比で収益D Iを除いて改善し、前年同期比では業況D Iのみ改善しました。東部富士五湖地区では、前期比ですべてのD Iが改善した一方、前年同期比では売上D Iを除いて悪化しました。相模原周辺地区では、前期比および前年同期比ですべてのD Iが改善しました。

来期見通しについては、山梨県国中地区と東部富士五湖地区で、すべてのD Iが今期実績比で悪化の見通しとなりました。相模原周辺地区では、同比で業況D Iが横這い、売上D Iと収益D Iが悪化の見通しとなりました。

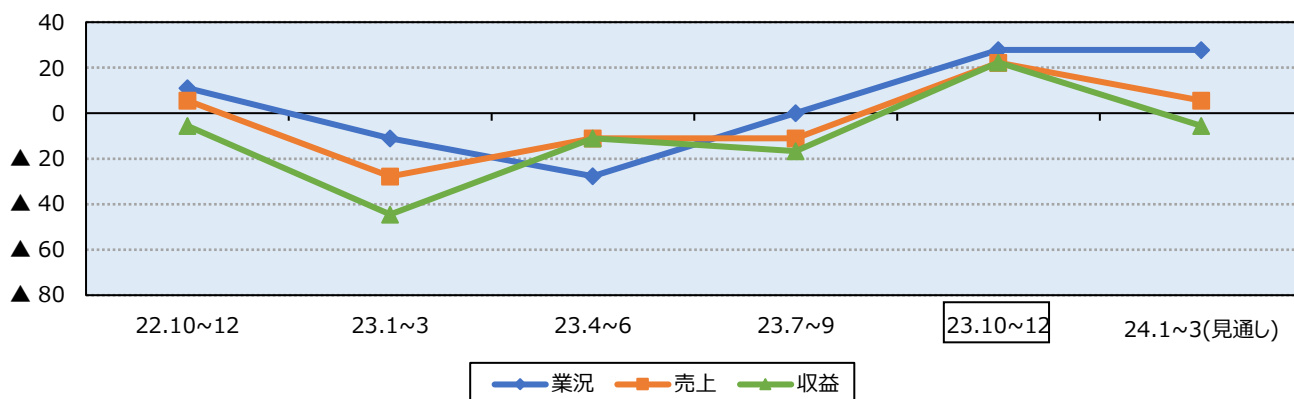
【 山梨県国中地区D Iの推移 】



【 東部富士五湖地区D Iの推移 】

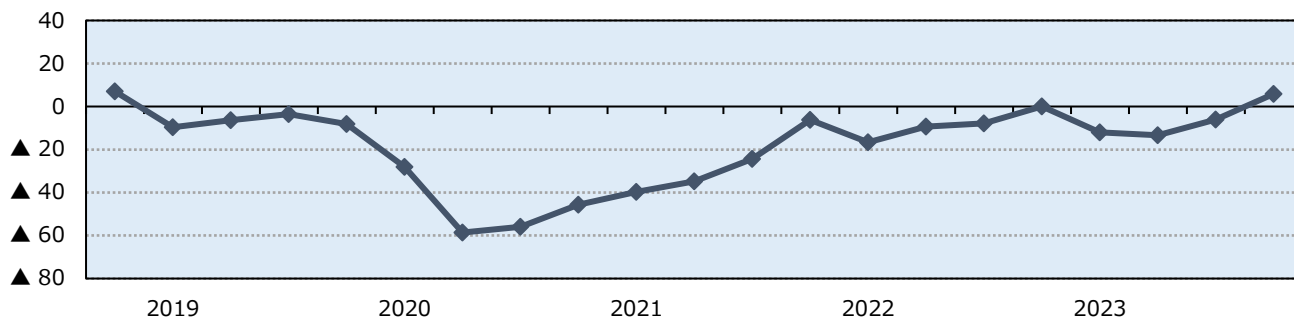


【 相模原周辺地区D Iの推移 】

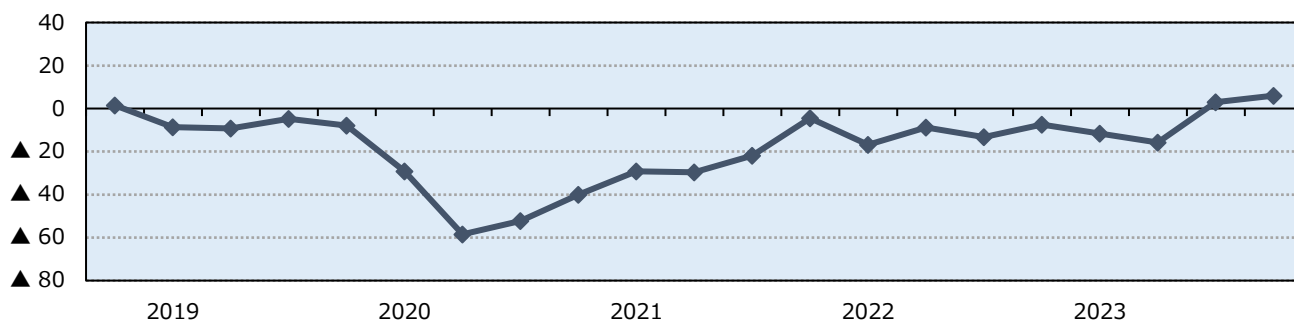


<業況D Iの5年間の推移>

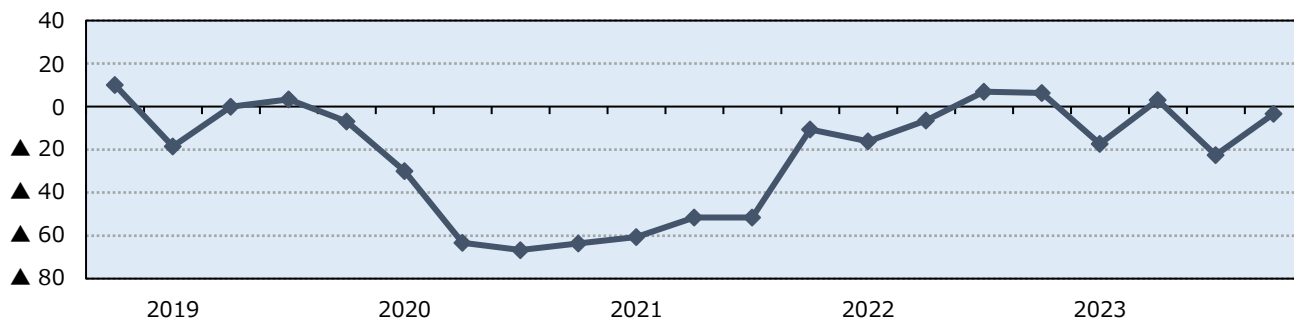
【 総合D Iの推移 】



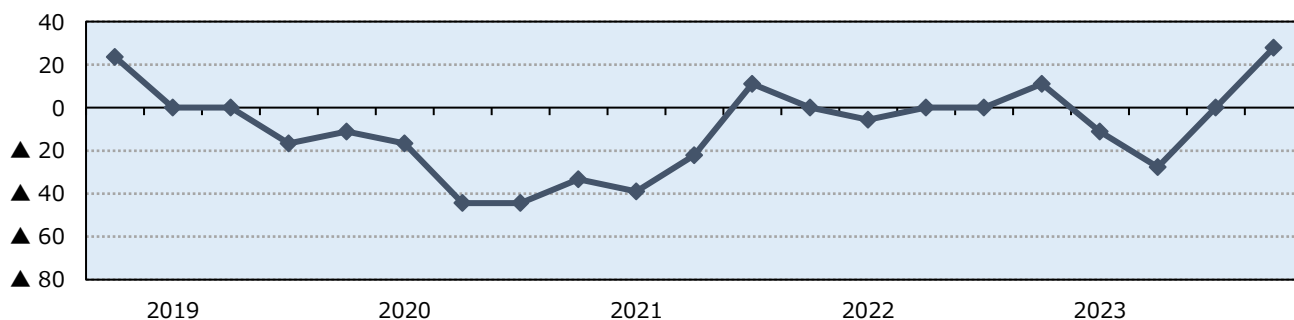
【 山梨県国中地区D Iの推移 】



【 東部富士五湖地区D Iの推移 】



【 相模原周辺地区D Iの推移 】

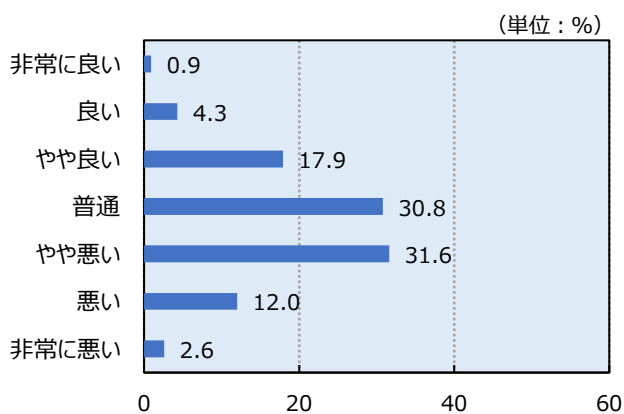


2024年（令和6年）の経営見通し（回答企業：117社）

問1 貴社では、2024年の日本の景気をどのように見通していますか。

- 日本の景気見通しについて、『良い』（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）が23.1%、『悪い』（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が46.2%、「良い(A)－悪い(B)=DI」は▲23.1となりました。
- 2023年見通し調査比で36.7ポイント改善、2022年見通し調査比で17.9ポイント改善しています。

【2024年の日本の景気の見通し】



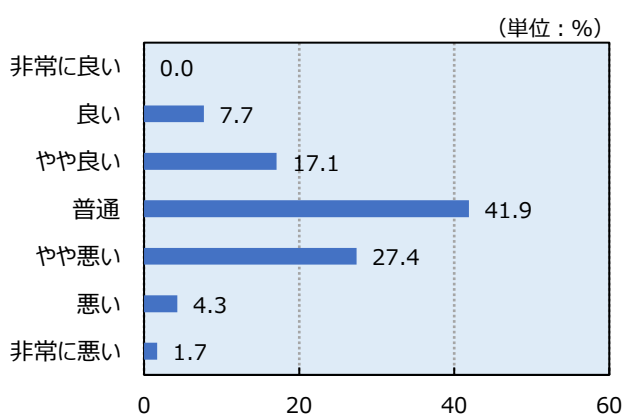
(単位：%)

	2022年 見通し	2023年 見通し	2024年 見通し
良い(A)	16.1	10.3	23.1
非常に良い	0.0	0.0	0.9
良い	2.7	3.4	4.3
やや良い	13.4	6.8	17.9
普通	26.8	19.7	30.8
悪い(B)	57.1	70.1	46.2
やや悪い	46.4	52.1	31.6
悪い	9.8	14.5	12.0
非常に悪い	0.9	3.4	2.6
DI(A)－(B)	▲ 41.0	▲ 59.8	▲ 23.1

問2 貴社では、2024年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。

- 自社の業況（景気）の見通しについて、『良い』（「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計）が24.8%、『悪い』（「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計）が33.3%、「良い(A)－悪い(B)=DI」は▲8.5となりました。
- 2023年見通し調査比で19.8ポイント改善、2022年見通し調査比で10.3ポイント改善しています。

【2024年の自社の業況（景気）の見通し】



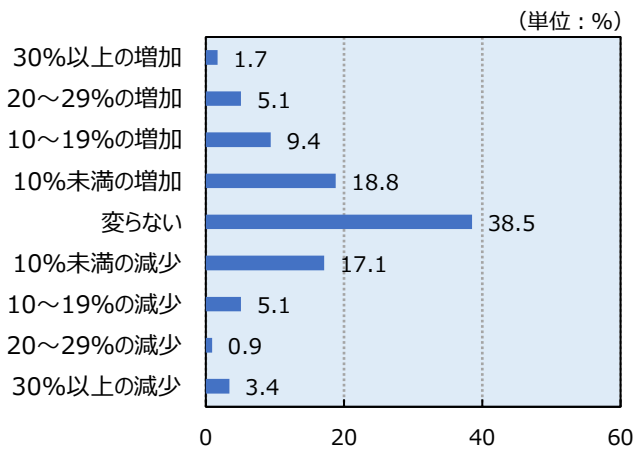
(単位：%)

	2022年 見通し	2023年 見通し	2024年 見通し
良い(A)	20.5	17.9	24.8
非常に良い	0.0	0.0	0.0
良い	6.3	5.1	7.7
やや良い	14.3	12.8	17.1
普通	40.2	35.9	41.9
悪い(B)	39.3	46.2	33.3
やや悪い	35.7	36.8	27.4
悪い	3.6	8.5	4.3
非常に悪い	0.0	0.9	1.7
DI(A)－(B)	▲ 18.8	▲ 28.3	▲ 8.5

問3 2024年において貴社の売上額の伸び率は、2023年に比べておおよそのくらいになると見通していますか。

- 自社の売上額の伸び率の見通しは、「増加(A)」が35.0%、「減少(B)」が26.5%、「増加(A)－減少(B)＝DI」は8.5となりました。
- 2023年見通し調査比で5.2ポイントの悪化、2022年見通し調査比で12.9ポイント悪化しています。

【2024年の自社の売上額の伸び率の見通し】



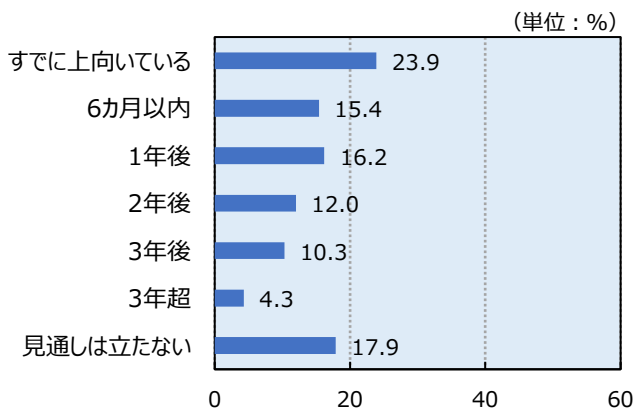
(単位：%)

	2022年 見通し	2023年 見通し	2024年 見通し
増加(A)	44.7	37.6	35.0
30%以上	1.8	1.7	1.7
20～29%	5.4	3.4	5.1
10～19%	16.1	8.5	9.4
10%未満	21.4	23.9	18.8
変わらない	32.1	38.5	38.5
減少(B)	23.3	23.9	26.5
10%未満	16.1	15.4	17.1
10～19%	4.5	7.7	5.1
20～29%	2.7	0.0	0.9
30%以上	0.0	0.9	3.4
DI(A)－(B)	21.4	13.7	8.5

問4 貴社では、自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。

- 業況が上向き転換点について、「すでに上向いている」、「6か月以内」、「1年後」のいずれかを回答した企業の割合は55.6%となり、2023年見通し調査比で3.5ポイント増加、2022年見通し調査比で6.5ポイント増加しました。
- 「すでに上向いている」と回答した企業の割合は3年続けて増加しました。
- 「見通しは立たない」と回答した企業の割合は17.9%となり、2023年見通し調査比で0.9ポイント減少、2022年見通し調査比で2.7ポイント増加しました。

【自社の業況が上向き転換点】



(単位：%)

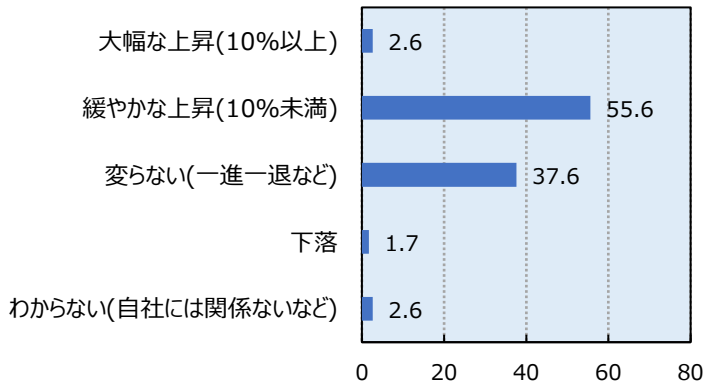
	2022年 見通し	2023年 見通し	2024年 見通し
すでに上向き	17.9	20.5	23.9
6か月以内	8.0	15.4	15.4
1年後	23.2	16.2	16.2
2年後	17.9	16.2	12.0
3年後	9.8	6.8	10.3
3年超	8.0	6.0	4.3
見通しは立たない	15.2	18.8	17.9

問5 近年、販売価格や仕入価格に上昇の傾向がみられますが、2024 年を展望したとき、貴社では価格面の動向をどのように見通していますか。

- 2024 年における販売価格の動向について、「緩やかな上昇(10%未満)」と回答した企業の割合が 55.6%と最も多く、次いで「変わらない(一進一退など)」が 37.6%となりました。
- 仕入価格の動向についても、「緩やかな上昇(10%未満)」と回答した企業の割合が 64.1%と最も多く、次いで「変わらない(一進一退など)」が 19.7%となりました。

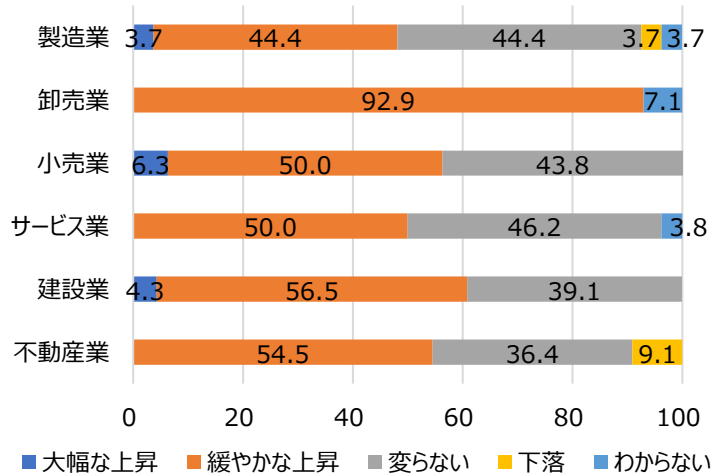
【販売価格】

(単位：%)



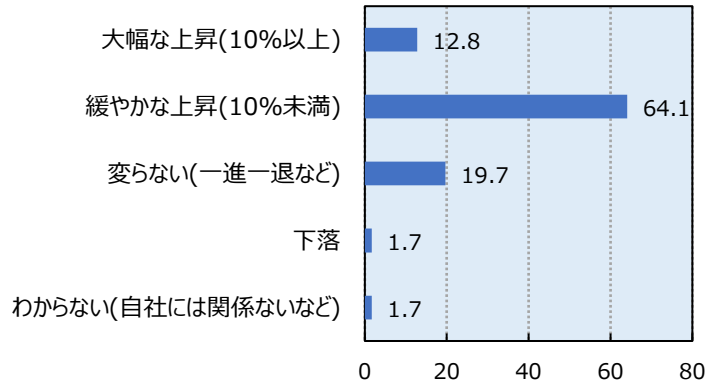
業種別回答割合

(単位：%)



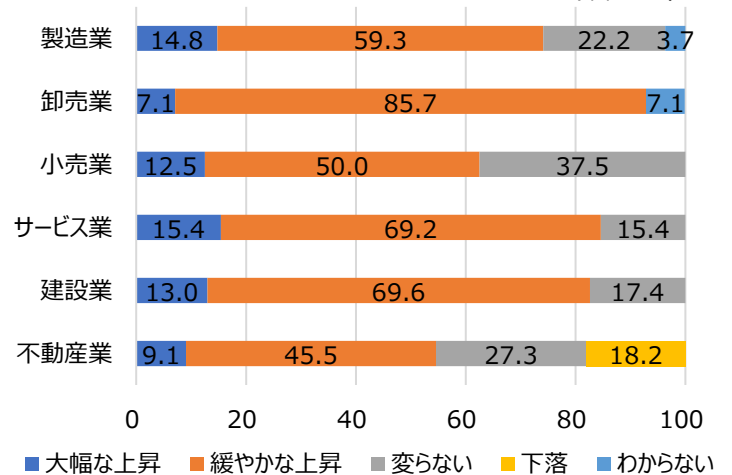
【仕入価格】

(単位：%)



業種別回答割合

(単位：%)



★地域のイベント情報

西湖こおりまつり（開催日：2月3日～12日）

⇒高さ10mの樹氷は迫力満点で、日没から夜にかけてはライトアップも行われるなど、自然が作り出した幻想的な芸術を堪能できる。

会場：西湖野鳥の森公園

交通アクセス：中央自動車道河口湖 IC から車で約 30 分

甲斐梅の里クロスカントリー大会（開催日：2月25日）

⇒種目は3コース19部門に分かれ、子どもから大人までがそれぞれ定めたゴールを目標に梅の里を疾走する。小学生以上の一般アマチュア競技者が参加可能となっている。

会場：敷島総合文化会館前広場、島上条公園

交通アクセス：中央自動車道双葉スマート IC より車で約 5 分

甲斐市桜まつり（開催日：3月下旬）

⇒甲斐市の花「桜」の開花時期に合わせて開催され、桜のライトアップや市商工会などによる出店、各種ステージ演出など、子供からお年寄りまで楽しめるイベントとなっている。

会場：赤坂台総合公園（ドラゴンパーク）

交通アクセス：中央自動車道双葉スマート IC より車で約 5 分

編集後記

2024年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期のD I 調査では、総合ですべてのD I が前期（7月～9月）比および前年同期比で改善しました。

一方、来期については、すべてのD I が悪化の見通しとなりました。

特別調査では、「2024年（令和6年）の経営見通し」と題し調査しました。日本の景気や自社の業況の見通しについて、D I はマイナス値ではあるものの、2023年見通し調査および2022年見通し調査と比較して改善が見られました。一方、販売価格や仕入価格の見通しについては、「緩やかな上昇」と回答した企業が最も多く、原材料価格高騰の影響は当面の間続くものと予測されます。

当金庫では、お客さまの資金繰り支援はもとより、本業支援にも積極的に取り組んでおります。経営に関する様々な相談を受け付けており、外部専門機関との連携等を通じた情報提供や課題解決に注力しております。ぜひ、お近くの営業店や担当者までご相談ください。